

2020年度 業績の概要

2021年5月26日



大樹生命保険株式会社

 日本生命グループ

1. 決算のポイント	… P 1
2. 収支の状況	… P 2
3. 新契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕	… P 3
4. 保有契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕	… P 4
5. 保有契約の状況〔団体保険・団体年金保険〕	… P 5
6. 損益計算書・貸借対照表・健全性	… P 6
7. 契約者配当について	… P 7
8. 当社における新型コロナウイルス感染症への対応	… P 8

1. 決算のポイント

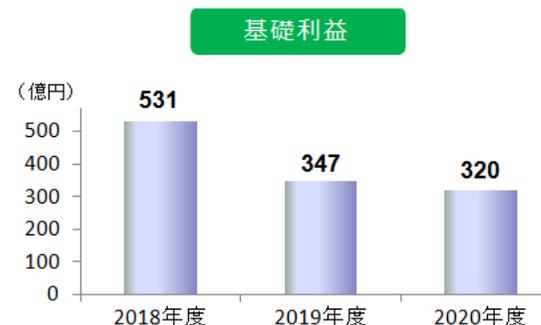
- 2020年度決算は、減収・減益
- 保険料等収入は、海外金利の低下に伴う一時払外貨建養老保険の販売減少を主因に減収
- 基礎利益は、一時払外貨建養老保険の販売減に伴う付加保険料の減少を主因に減益
- 健全性を示すソルベンシー・マージン比率は、前年度末と同水準の
1, 175.2%

2. 収支の状況

- 保険料等収入は、海外金利の低下に伴う一時払外貨建養老保険の販売減少を主因に、前年度比 33.9%減の 4,412 億円。
- 基礎利益は、一時払外貨建養老保険の販売減に伴う付加保険料の減少を主因に、前年度比 7.6%減の 320 億円。

(単位：億円、%)

区 分	2019年度	2020年度	前年度比
			増減率
保険料等収入	6,677	4,412	▲ 33.9
基礎利益	347	320	▲ 7.6
利差損益	▲ 259	▲ 272	▲ 4.8
費差損益	29	▲ 11	-
危険差益	577	604	+ 4.7



3. 新契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕

- 新契約年換算保険料は、新型コロナウイルス感染症の拡大による営業活動の自粛、海外金利の低下に伴う外貨建保険商品の販売減少により、前年度比42.8%減の189億円。

(単位:千件、億円、%)

区 分	2019年度	2020年度	
		2020年度	前年度比 増減率
新契約件数	192	113	▲ 40.9
新契約高	8,062	5,585	▲ 30.7
新契約年換算保険料	332	189	▲ 42.8

(注)「新契約件数」は、新契約に転換後契約を加えた数値。



4. 保有契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕

■ 保有契約年換算保険料は、前年度末比0.1%増の5,147億円。

(単位: 千件、億円、%)

区 分	2019年度末	2020年度末	前年度末比
			増減率
保有契約件数	2,596	2,546	▲ 1.9
保有契約高	186,752	180,750	▲ 3.2
保有契約年換算保険料	5,142	5,147	+ 0.1



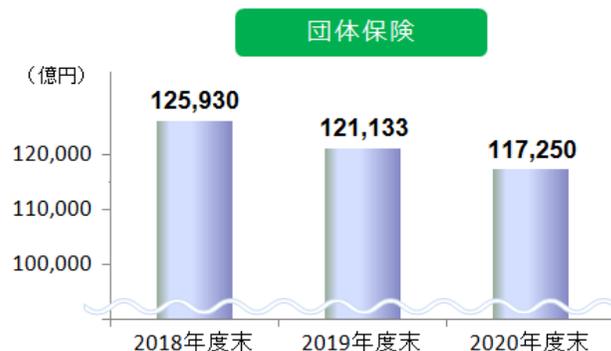
5. 保有契約の状況〔団体保険・団体年金保険〕

- 団体保険（保有契約高）は、総合福祉団体定期保険の保有が増加した一方、団体定期保険および団体信用生命保険の保有が減少したことから、前年度末比3.2%減の1兆7,250億円。

（単位：億円、%）

区 分	2019年度末	2020年度末	
		2020年度末	前年度末比 増 減 率
団体保険（保有契約高）	121,133	117,250	▲ 3.2
団体年金保険（保有契約高）	7,827	7,801	▲ 0.3
一般勘定	6,842	6,646	▲ 2.9
特別勘定	984	1,154	+ 17.3

（注）団体年金保険の保有契約高は、責任準備金の金額。



6. 損益計算書・貸借対照表・健全性

- 当期純利益は、基礎利益が減少したこと等から、前年度比で減少。
- ソルベンシー・マージン比率は、株価上昇に伴う有価証券の含み益の増加および資産運用リスクの増加等により、前年度末と同水準の1,175.2%。実質純資産は、前年度末比4.0%増の1兆3,314億円。

<損益計算書>

(単位：億円、%)

区 分	2019年度	2020年度	前年度比 増減率
経常収益	8,637	8,449	▲ 2.2
保険料等収入	6,677	4,412	▲ 33.9
資産運用収益	1,786	3,888	+ 117.6
経常費用	8,420	8,277	▲ 1.7
保険金等支払金	5,370	5,088	▲ 5.3
資産運用費用	1,504	712	▲ 52.7
事業費	945	881	▲ 6.8
経常利益	216	172	▲ 20.5
当期純利益	7	2	▲ 67.0

<有価証券 含み損益>

(単位：億円)

区 分	2019年度末	2020年度末	前年度末比 増減額
時価のある有価証券の含み益	6,471	6,801	+ 330
国内公社債	4,403	3,697	▲ 706
国内株式	840	1,924	+ 1,083
外国証券	1,238	1,057	▲ 180
その他	▲ 11	122	+ 134

<貸借対照表・健全性>

(単位：億円、%)

区 分	2019年度末	2020年度末	前年度末比 増減率
総資産	74,956	79,643	+ 6.3
有価証券	56,035	60,007	+ 7.1
貸付金	10,034	9,816	▲ 2.2
有形固定資産	2,309	2,301	▲ 0.4
負債	69,871	73,810	+ 5.6
保険契約準備金	63,770	65,098	+ 2.1
責任準備金	62,943	64,294	+ 2.1
純資産	5,084	5,833	+ 14.7
ソルベンシー・マージン比率	1,177.8%	1,175.2%	▲ 2.6 ポイント*
実質純資産額	12,798	13,314	+ 4.0
実質純資産比率	17.5%	17.1%	▲ 0.4 ポイント*

(注1) *のポイントは前年度末との差。

(注2) 「実質純資産比率」=「実質純資産額」÷「一般勘定資産」。

7. 契約者配当について

■ 契約者配当

個人保険・
個人年金保険

… 前年度に引き続き、継続中のご契約に対する通常配当、並びに消滅時特別配当を実施いたします。
契約者配当の水準は、前年度と同一の水準に据え置きます。

団体保険・
団体年金保険

… 前年度と同一の水準に据え置きます。

8. 当社における新型コロナウイルス感染症への対応

■ 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている皆さまに心からお見舞い申し上げます。当社では、お客さまと従業員の安全・安心を最優先として感染拡大防止を徹底しつつ、適切な営業活動やお客さまへの心のこもったサービス提供を図っています。

【営業活動における取組み】

お客さまのアポイント取得を前提とした訪問活動や、対面を希望されないお客さまへは電話や郵送およびオンラインの活用によるご契約内容の説明を行うなど、感染予防対策を徹底のうえ、営業活動を行っています。

【ご契約に対する各種お取扱い】

保険金・給付金・契約者貸付金の簡易迅速なお支払い（必要書類の一部省略など）、同感染症を直接の原因としてお亡くなりになった場合、「災害死亡保険金」等の支払対象とするなど、各種のお取扱いを行っています。（2021年5月26日時点）

【2020年度の保険金等の支払状況、特別取扱いの状況】

- 新型コロナウイルス感染症による保険金や給付金の支払状況
 - 死亡保険金：約160件、約11.5億円
 - 入院給付金：約2,420件、約3.1億円

- 保険料払込猶予期間延長の件数は約4,440件